

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 エスベック株式会社
 コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 進 信義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 廣 信義
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日 配当支払開始予定日 平成20年12月9日

上場取引所 東 大

TEL 06-6358-4741

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	18,402	—	564	—	743	—	371	—
20年3月期第2四半期	19,165	△0.7	1,055	△37.4	1,035	△42.0	228	△75.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	15.64	15.64
20年3月期第2四半期	9.66	9.60

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第2四半期	42,967	—	30,995	—	71.7	—	1,297.65	—
20年3月期	43,810	—	31,127	—	70.6	—	1,305.43	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 30,795百万円 20年3月期 30,940百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
21年3月期	—	9.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△2.2	2,300	△26.5	2,400	△19.2	1,400	15.1	59.00

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 23,781,394株 20年3月期 23,750,394株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 49,665株 20年3月期 49,166株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 23,722,266株 20年3月期第2四半期 23,659,199株

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済につきましては、米国の金融不安に端を発した世界的な経済情勢の悪化に加え、原油・原材料価格や為替相場の変動に伴う企業収益の減少などによって、景気先行きに対する不透明感により一層強まってまいりました。

こうしたなか当社グループにおきましては、自動車やエレクトロニクスなどの重点市場における販売展開を推進するとともに、海外での競争力向上に向けて海外関係会社の経営・マネジメント体制ならびに販売・サービス対応力の強化に取り組んでまいりました。また、コストダウンや生産性向上などの収益改善に重点的に取り組むなど、収益基盤の安定化に努めてまいりました。

さらに、新技術・新製品開発を推進するなど、中長期的成長に向けた取組みも積極的に進めてまいりました。

しかしながら、半導体市場の低迷に加え、これまで堅調に推移してきた自動車メーカーの設備投資の減速を受け、特に環境試験事業の業績が低下し、売上高・営業利益は、前年同四半期連結累計期間比で減少いたしました。四半期純利益につきましては、特別損失の減少等により、前年同四半期連結累計期間比で増益となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (第55期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	18,401	20,555	11.7
売上高	19,165	18,402	△4.0
営業利益	1,055	564	△46.5
経常利益	1,035	743	△28.2
四半期純利益	228	371	62.4

<環境試験事業>

製品販売につきましては、国内市場において、自動車・エレクトロニクスなどの重点市場に向けた販売展開を推進するとともに、当社の重要な販売チャネルである代理店との関係強化に取り組んでまいりました。また、海外市場においては、海外関係会社の経営・マネジメント体制の強化、ならびに環境試験の需要が拡大する新興国を中心に販売・サービス対応力の向上に取り組んでまいりました。しかしながら、これまで堅調に推移してきた自動車メーカーなどの設備投資減速の影響により、前年同四半期連結累計期間比で減収となりました。営業利益につきましては、継続したコストダウン活動に加え、生産拠点の集約や調達・物流システムの改善など、収益力の強化に向けて積極的に取り組んでまいりましたものの、売上低下などによる影響が大きく、前年同四半期連結累計期間比で減益となりました。

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、売上高において、定期的な訪問サービスの強化により順調に増加しましたものの、お客さまの試験設備の移設・改修などの周辺工事が減少し、前年同四半期連結累計期間比で減収となりました。利益面におきましては、外注加工費等の減少により原価率が改善し、前年同四半期連結累計期間比で増益となりました。

受託試験・レンタルにつきましては、売上高において、受託試験依頼は堅調に推移しましたものの、お客さまの経費削減に伴うレンタル取引の減少により、前年同四半期連結累計期間比で減収となりました。利益面におきましては、横浜新試験所開設などの将来を見据えた戦略投資もあり、営業損失となりました。

こうした結果、環境試験事業全体では特に製品販売および受託試験・レンタルの影響により、前年同四半期連結累計期間比で減収減益となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (第55期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	14,679	14,651	△0.2
売上高	14,294	13,937	△2.5
営業利益	1,261	655	△48.1

<電子デバイス装置事業>

FPD装置事業につきましては、LCDメーカーの設備投資が好調に推移するなか、台湾メーカーを中心にガラス基板対応熱処理装置を納入し、前年同四半期連結累計期間比で増収となりました。しかしながら、利益面につきましては、現地化の推進によるコストダウンに取り組んでまいりましたものの、原材料価格の高騰等による採算性の低下やたな卸資産の評価損などにより、原価率が悪化し、営業損失となりました。

半導体装置事業につきましては、半導体評価システム等の販売強化を推進し業績確保に取り組んでまいりましたものの、市況低迷による半導体メーカーの設備投資の中止・抑制の動きは当社想定以上に強く、前年同四半期連結累計期間比で減収となりました。しかしながら、利益面につきましては、前期撤退した半導体洗浄装置において営業損失を計上していた関係もあり、前年同四半期連結累計期間比で増益となりました。

こうした結果、電子デバイス装置事業全体では、売上高につきましては半導体装置事業の影響により、前年同四半期連結累計期間比で減少し、利益面につきましてはFPD装置事業の影響により、営業損失となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (第55期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	3,212	5,553	72.9
売上高	4,657	4,171	△10.4
営業損失(△)	△189	△58	—

<その他事業>

その他事業につきましては、森づくりや水辺づくり、都市緑化などの環境エンジニアリング、および将来の収益源となり得る新規事業開発を推進しております。当事業につきましては、受注高・売上高・営業利益のすべてにおいて前年同四半期連結累計期間比で下回りました。

	前第2四半期連結累計期間 (第55期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	602	386	△35.9
売上高	390	328	△15.8
営業損失(△)	△16	△30	—

※ (1) 増減率につきましては、参考として記載しております。

(2) 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2および第4四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は42,967百万円で、前連結会計年度末と比べ843百万円の減少となりました。その主な要因は、売上債権の減少426百万円、たな卸資産の増加516百万円、未収法人税等の還付等による流動資産その他の減少1,108百万円などによるものであります。また、負債は11,971百万円で前連結会計年度末と比べ711百万円の減少となりました。その主な要因は、仕入債務の減少937百万円、前受金等の増加による流動負債その他の増加312百万円などによるものであります。純資産は30,995百万円で前連結会計年度末と比べ131百万円の減少となり、その主な要因は利益剰余金の増加86百万円、為替換算調整勘定の減少152百万円などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通し

当社を取り巻く経営環境につきましては、米国の金融不安に端を発した世界的な経済情勢の悪化に加え、原油・原材料価格や為替相場の変動に伴う企業収益の減少などによって、今後も一層厳しい状況が続くものと予測されます。

こうしたなか当社グループにおきましては、環境試験事業において、重点市場・顧客への対応力・提案力の向上を目的に、カスタム対応部門の設置や省エネ製品の開発を推進するとともに、原材料価格の高騰に対処すべく販売価格の改定を行うなど収益確保に取り組んでまいります。また、中国・東南アジアを中心とした重点戦略地域における海外関係会社・代理店への支援強化を図るなど、グローバル競争力をより一層高めてまいります。さらに、新技術・新製品開発の推進を行うなど、将来の収益拡大に向けて積極的に取り組んでまいります。

電子デバイス装置事業につきましては、FPD装置事業において、収益基盤の強化に向けた、徹底した標準化によるコストダウンの推進やプロセス面における管理機能の強化に努めてまいります。半導体装置事業につきましては、半導体市況の低迷により厳しい環境が継続するものの、テストシステムの販売拡大により新市場・新規顧客の獲得に取り組むことで、収益確保に努めてまいります。

これらの状況を踏まえ、通期見通しといたしましては、売上高400億円、営業利益は23億円を計画しております。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成20年8月8日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表の業績予想数値に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表作成にあたり適用した特有の会計処理

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

従来、仕掛品は主として個別法による原価法、その他のたな卸資産は主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、仕掛品は主として個別法による、その他のたな卸資産は主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の売上総利益および税金等調整前四半期純利益がそれぞれ150百万円減少しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用できるようになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。この変更による損益に与える影響はありません。

⑤海外コミッションの会計処理の変更

海外のエージェント取引における販売手数料について、従来売上高の控除としておりましたが、新たに主要な販売先と販売代理契約の締結を完了した結果、新たな契約によりエージェントに対する手数料が販売促進(販売費及び一般管理費)としての傾向がより強くなったことに加え、販売システムおよび貿易管理システムの構築が完了し、第1四半期連結会計期間中に海外取引の管理方法の見直しを実施した結果、第1四半期連結会計期間より当該販売手数料を販売費及び一般管理費に含めることといたしました。この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間の売上高、売上総利益及び販売費及び一般管理費がそれぞれ336百万円増加しております。なお、営業利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,686	5,461
受取手形及び売掛金	15,369	15,795
有価証券	1,798	1,649
商品	69	107
製品	212	323
原材料	1,197	1,208
仕掛品	2,351	1,674
その他	1,614	2,722
貸倒引当金	△22	△26
流動資産合計	28,278	28,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,275	4,162
土地	4,455	4,462
その他（純額）	1,007	1,049
有形固定資産合計	9,738	9,674
無形固定資産	963	1,073
投資その他の資産	3,986	4,145
固定資産合計	14,689	14,893
資産合計	42,967	43,810
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,781	6,719
短期借入金	524	457
未払法人税等	221	251
賞与引当金	506	523
役員賞与引当金	13	31
製品保証引当金	213	244
その他	2,474	2,161
流動負債合計	9,735	10,390
固定負債		
長期借入金	376	416
退職給付引当金	107	130
役員退職慰労引当金	59	85
負ののれん	74	91
その他	1,617	1,568
固定負債合計	2,236	2,292
負債合計	11,971	12,682

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,884
資本剰余金	7,173	7,161
利益剰余金	17,827	17,741
自己株式	△53	△52
株主資本合計	31,843	31,734
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6	95
土地再評価差額金	△818	△818
為替換算調整勘定	△222	△70
評価・換算差額等合計	△1,047	△793
少数株主持分	200	187
純資産合計	30,995	31,127
負債純資産合計	42,967	43,810

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	18,402
売上原価	12,646
売上総利益	5,755
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	1,252
賞与引当金繰入額	163
製品保証引当金繰入額	92
役員賞与引当金繰入額	13
その他	3,670
販売費及び一般管理費合計	5,191
営業利益	564
営業外収益	
受取利息	25
受取配当金	38
負ののれん償却額	16
持分法による投資利益	62
その他	71
営業外収益合計	214
営業外費用	
支払利息	16
有価証券売却損	5
その他	13
営業外費用合計	35
経常利益	743
特別利益	
固定資産売却益	0
貸倒引当金戻入額	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産売却損	1
固定資産除却損	37
投資有価証券評価損	81
特別損失合計	119
税金等調整前四半期純利益	625
法人税、住民税及び事業税	242
少数株主利益	11
四半期純利益	371

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	環境試験事業 (百万円)	電子デバイス 装置事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,910	4,170	321	18,402	—	18,402
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	27	1	6	35	(35)	—
計	13,937	4,171	328	18,437	(35)	18,402
営業利益又は 営業損失 (△)	655	△58	△30	566	△2	564

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	
I 売上高		19,165	100.0
II 売上原価		12,848	67.0
売上総利益		6,317	33.0
III 販売費及び一般管理費		5,262	27.5
営業利益		1,055	5.5
IV 営業外収益			
受取利息	18		
受取配当金	97		
持分法による投資利益	97		
その他	79	293	1.5
V 営業外費用			
支払利息	15		
営業外手数料	5		
為替差損	24		
たな卸資産廃棄損	49		
新規事業開発損失	196		
その他	22	313	1.6
経常利益		1,035	5.4
VI 特別利益			
投資有価証券売却益	6		
退職給付制度移行益	102	109	0.6
VII 特別損失			
固定資産除却損	14		
減損損失	432		
貸倒引当金繰入額	109		
役員退職慰労引当繰入額	85		
投資有価証券評価額	233	876	4.6
税金等調整前中間純利益		267	1.4
法人税、住民税及び事業税	27		
法人税等調整額	-	27	0.1
少数株主利益		11	0.1
中間純利益		228	1.2

(2) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	環境試験 事業 (百万円)	電子デバイス 装置事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,246	4,538	380	19,165	-	19,165
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	47	119	9	176	(176)	-
計	14,294	4,657	390	19,342	(176)	19,165
営業費用	13,032	4,846	406	18,286	(176)	18,110
営業利益又は営業損失（△）	1,261	△189	△16	1,055	(0)	1,055